

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	モジラ・アルク かごしま		
○保護者評価実施期間	R8年1月5日		R8年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R8年1月5日		R8年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員および専門職など多職種が連携を図り、専門性を活かした集団支援、個別支援を行っています。	利用児それぞれの特性(得意なこと、こだわり、苦手なこと)を多職種で共有し、専門的な視点から支援を行っています。	研修など積極的な参加を継続し、よりよい支援の提供を目指します。
2	5領域を網羅した活動プログラムの構築ができています。	放課後等デイサービスの5領域を踏まえ、スタッフの強みを活かした月間プログラムを構築、実施しています。	学年に合わせ、社会性を中心に将来の自立を見据えた支援が実施できるよう努めていきます。
3	視覚支援による環境調整を行います。	日々のスケジュールや時刻などの視覚的構造化を行い、利用児自身が確認、見通しを持って活動できる環境を整えています。	利用児に合わせて提示方法を変化させ、更なる支援の充実を図ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の頻度と内容	現在、Instagramを使用して情報を発信しています。日々の支援内容や成果の共有がまだ不十分です。	日々の支援の様子が具体的に伝わるよう、更新頻度を上げ、保護者との接点を増やします。
2	防災、避難訓練の意識定着	避難訓練の内容が事前に伝えられていないため、一部の利用児の不安につながる可能性があります。	事前の見通しを立てつつ、年2回以上の訓練を体系化し、安全計画に基づいた周知を徹底します。
3			